

「神戸新聞 2009年11月5日付」

多様な生き物守ろう

戸島湿地、円山川で住民ら

外来種駆除と里山整備

コウノトリなど多様な生き物が生息する豊かな自然環境を守ろうと、豊岡市城崎町の円山川と戸島湿地で4日、ブラックバスなど外来種の駆除と



次々と竹を切り出す参加者。山肌に久しぶりの陽光が降り注いだ＝豊岡市城崎町戸島

竹が生い茂る里山の整備作業が行われた。湿地ネットや市などでつくる「コウノトリ生息地保全協議会」と、同湿地の環境調査を行う総合

「復建調査設計」（広島市）などが参加。10年ほど前から、在来の小魚や卵を食へ、繁殖力の強い外来魚の対応に追われている

円山川漁協も協力した。

参加した約20人は午前中、城崎町桃島の菊屋島の浅瀬で、前日に仕掛けた専用の網からオクチバスとブルーギルなどの特定外来種約130匹を捕獲した。午後からは戸島湿地横のわき水が流れる急斜面に入り、人が歩けないほど密生した竹を約3時間かけて切り出すなど、里山の景観回復に努めた。

同社で環境調査を担当している若宮慎二さん（40）は「環境部門以外の社員も参加することで、次に生かす意識が幅広く高められます」と話していた。

（大山伸一郎）